

LB 簡単! ファイルを自動バックアップ **2** クイックガイド

インストール

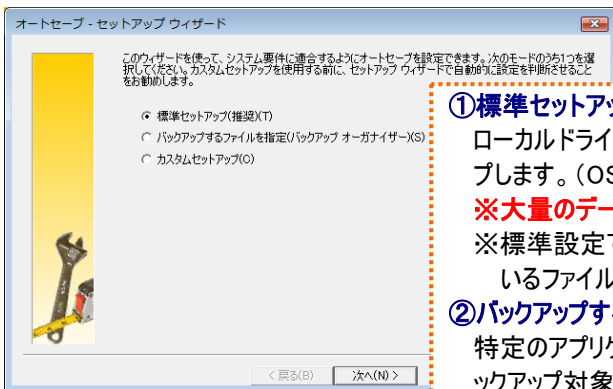
CDを挿入すると以下の画面が表示されます。表示されない場合には、CD-ROMから直接Setup.exeを実行してください。「インストール」ボタンを選択し、「オートセーブ 2 のインストール」をクリックしてください。インストールウィザードが表示されるので、画面の指示に従ってインストールを実行してください。



インストール後の設定

インストール後、バックアップの設定を行うためにセットアップ ウィザードが起動します。

バックアップの初期設定を行います。バックアップ対象が決まっている場合には、[バックアップするファイルを指定]、もしくは[カスタムセットアップ]を選択してください。設定は後で変更することもできます。



①標準セットアップ

ローカルドライブのファイル、フォルダを監視し、更新時に自動バックアップします。(OSのバックアップはできません)

※大量のデータがバックアップされますので、お勧めしません。

※標準設定で、除外されているファイルもあります。除外対象になっているファイルについては補足説明書をご確認ください。

②バックアップするファイルを指定(バックアップ オーガナイザー)

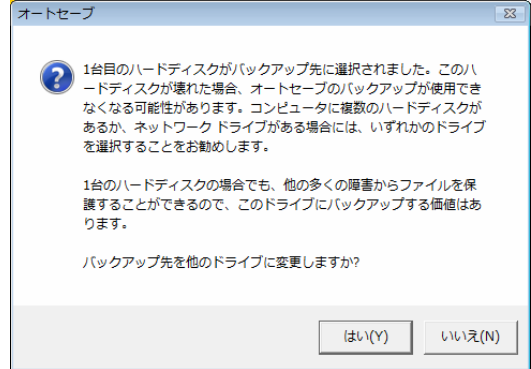
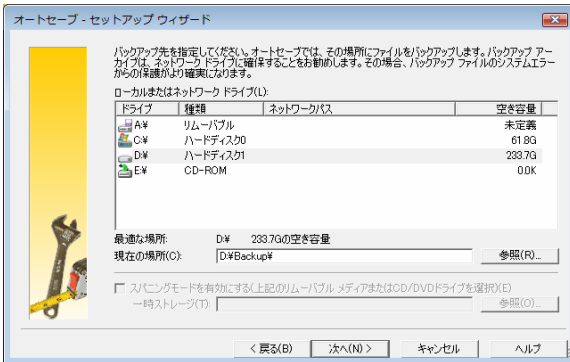
特定のアプリケーション、ドライブ、フォルダ、ファイル、拡張子などで、バックアップ対象を指定、除外することができます。

③カスタムセットアップ

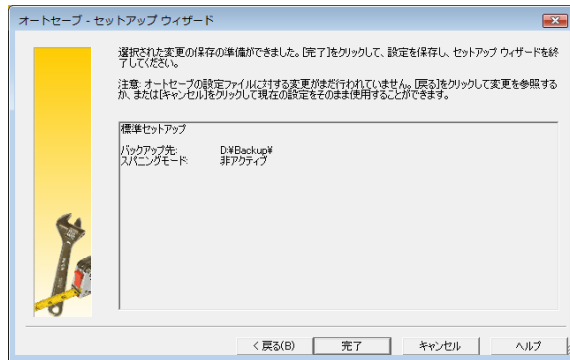
詳細なバックアップオプションが設定できます。

① 標準セットアップ ※大量のデータがバックアップされますので、お勧めしません。

1. 標準セットアップでは、バックアップの保存先を指定します。「参照」ボタンをクリックしてバックアップ先を変更することもできます。設定が完了したら、「次へ」をクリックしてください。

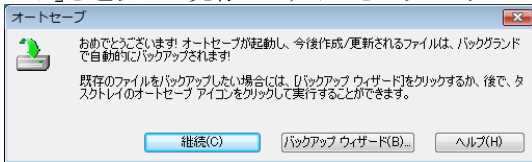


2. 設定内容が表示されます。「完了」をクリックし、設定を終了します。ウィザードを完了し、PCを再起動してください。



1台目のハードディスクをバックアップ先に指定すると以下の画面が表示されます。バックアップ先として外付けのハードディスク、ネットワークドライブを推奨しますが、バックアップ先を変更しない場合には「いいえ」を選択してください。

3. 再起動後、オートセーブ 2 が最初に起動した際に、以下の画面が表示されます。「バックアップ ウィザード」を選択して既存のファイルをバックアップします。



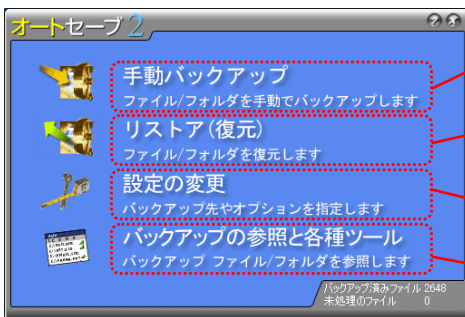
オートセーブ 2 の導入前に作成されたファイルをバックアップしたい場合にはバックアップ ウィザードを使用します。バックアップ ウィザードの詳細については補足説明書をご参照ください。

以上で設定は完了です。データの自動バックアップが開始されます。オートセーブ 2 が起動中はタスクトレイにオートセーブ 2 のアイコンが表示されます。アイコンによってオートセーブ 2 の状態が確認できます。

アイコン	色	状態	説明
	グレー	アクティブ	オートセーブはファイルの変更を監視しています。
	緑	アクティブ	設定に従って現在ファイルのバックアップ中です。
	紫	ロギング	変更されたファイルを記録し、再接続後にバックアップを実行します。
	黄	一時停止	バックアップは実行されません。ファイルの変更はログに記録されません。
	赤	停止	バックアップは実行されません。ファイルの変更はログに記録されません。

タスクトレイの
アイコンをダブルクリック
すると、オートセーブ 2の
メイン画面が表示されま
す。

それぞれの機能につい
てはユーザーマニュアル
をご参照ください。



手動でファイル、フォルダを一括バックアップします。

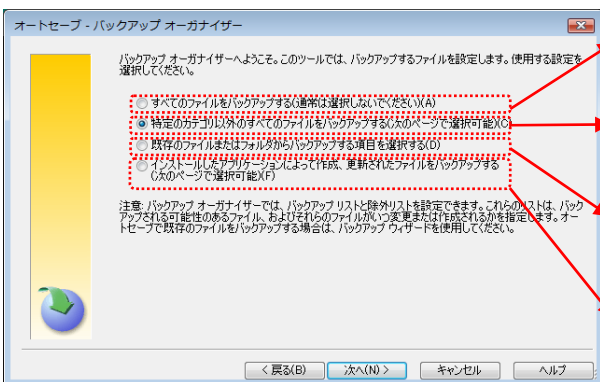
ファイルやフォルダをリストア(復元)します。

バックアップの設定を変更します。

バックアップ状況の確認と詳細ツールが使用できます。

② バックアップするファイルを指定(バックアップ オーガナイザー)

バックアップ対象を指定します。設定後に他のオプションで再設定すると、以前の設定はすべて削除されます(初期化されます)。設定後に修正したい場合にはカスタムセットアップを使用してください。



データ量が多くなるので、お勧めしません。

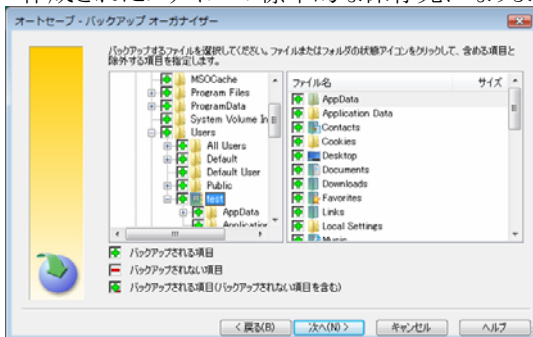
バックアップしないカテゴリを指定します。ビデオ、イメージ、サウンドなど、カテゴリ単位でバックアップ対象から除外することができます。

バックアップ対象のドライブ、フォルダ、ファイルを指定します。例えば、マイドキュメントのみをバックアップしたい場合などはこのオプションを選択します。

アプリケーション単位でバックアップ対象を指定します。例えば、Word/Excel のファイルのみをバックアップしたい場合などはこのオプションを選択します。






(例) ユーザのフォルダ(マイドキュメント)に保存されるデータを自動バックアップする

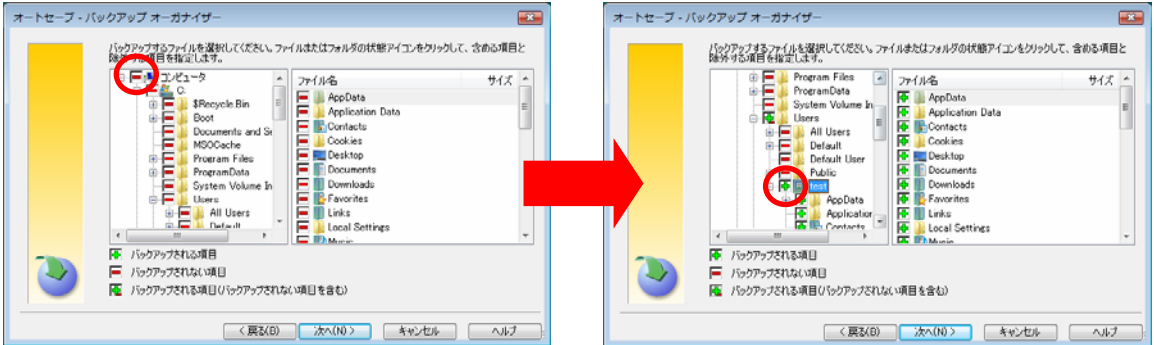
1. 前述の「インストール後の設定」画面で、「バックアップするファイルを指定(バックアップ オーガナイザー)」をクリックして選択し、「次へ」ボタンをクリックします。(「インストール後の設定」を参照)
2. 前述の標準セットアップと同様にバックアップ先の指定画面が表示されますので、バックアップ先を指定してください。(①-1を参照)
3. バックアップ オーガナイザーで、「既存のファイルまたはフォルダからバックアップする項目を選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
4. 以下のエクスプローラ形式の画面が表示されますので、「+」をクリックしフォルダを展開します。Windows Vista の場合、「コンピュータ」 - 「Cドライブ」 - 「Users」 - 「ログインユーザ名(※)」がユーザによって作成されたファイルの標準的な保存先になります。



※ 通常使用するユーザのフォルダを指定してください。

※ Windows XP/2000 の場合、「マイコンピュータ」 - 「C ドライブ」 - 「Documents and Settings」 - 「ログインユーザ名」 - 「My Documents」と展開します。

5.  のアイコンがバックアップ対象となります。今回は Windows Vista の一般的な保存先をバックアップ対象にしますので、対象のアイコン以外は  に変更します。アイコンをクリックすると変更されます。手順としては、まず「コンピュータ」のアイコンをクリックし、 に変更します。すべてのアイコンが  になりますので、その後で「Users」内のログインしているユーザ名のフォルダのアイコンを  に変更します。



6. 「次へ」ボタンをクリックすると、前述の「①-2」と同じ画面が表示されますので、設定を続けてください。再起動後には、選択したフォルダで作成、更新されるファイルは設定した保存先へ自動バックアップされます。 ※上記設定後は一時ファイル以外のすべてのファイルがバックアップ対象となります。

③ カスタムセットアップ

カスタムセットアップを選択するとバックアップに関するオプションを詳細に設定することができます。前述の「インストール後の設定」画面で、「カスタムセットアップ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。（「インストール後の設定」を参照）ここでは、よく使うオプションについてご紹介します。カスタムセットアップの詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

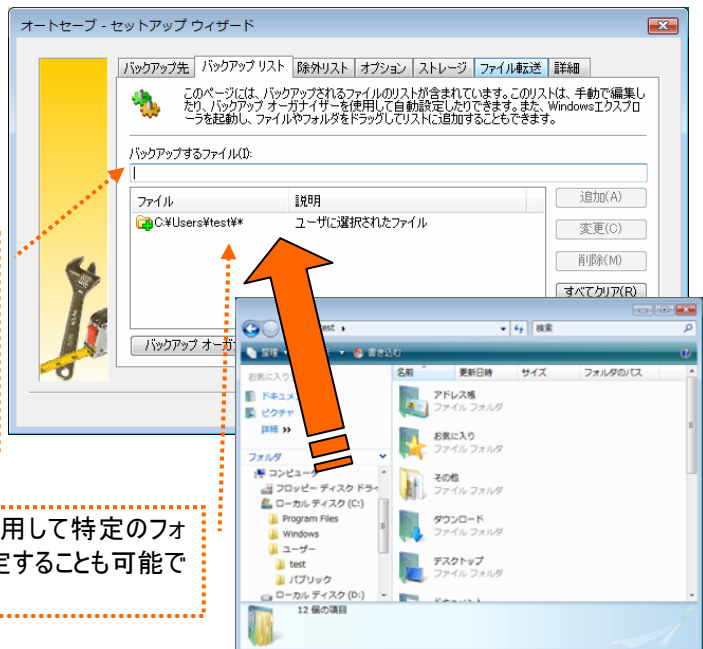
[バックアップ先] バックアップ先を指定します。前述の標準セットアップと同様にバックアップ先の指定画面が表示されますので、バックアップ先を指定してください。（①-1を参照）

[バックアップリスト]

バックアップ対象を指定します。デフォルトでは、「*」が指定されており、すべてのファイルがバックアップ対象になっています。最初に「すべてクリア」ボタンを押して、リストを消去してください。

Dドライブ全体をバックアップしたい時は、**D:***と入力して[追加]ボタンを押します。
特定の拡張子だけを保存したい時は、拡張子の前に*を付けて[追加]ボタンを押します。
例)*.doc (word) *.jpg (デジカメの写真)

エクスプローラを使用して特定のフォルダ、ドライブを指定することも可能です。

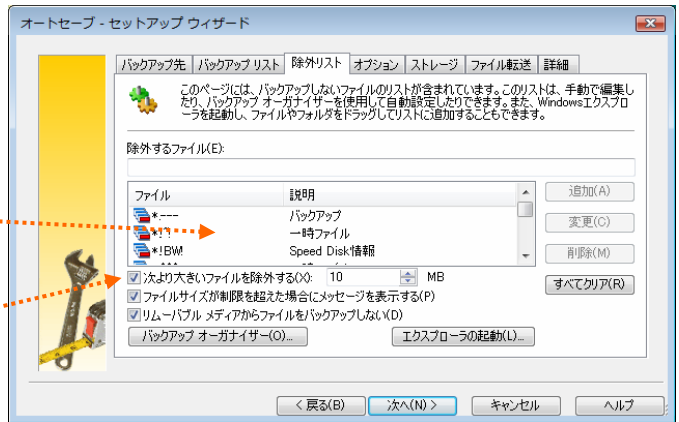


【除外リスト】

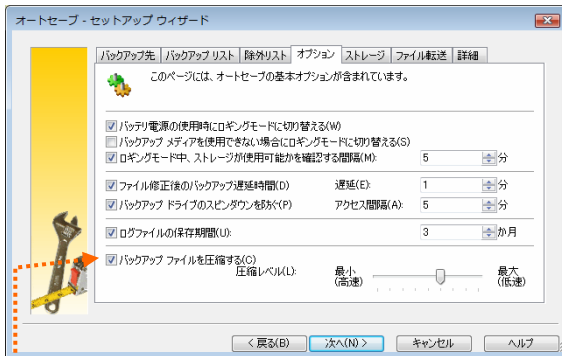
バックアップから除外する対象を指定します。バックアップしたいファイルがあればリストから削除してください。「すべてクリア」をクリックするとリスト全体を消去することができます。

バックアップしたい拡張子がある場合には、リストから削除してください。

標準では、10MB を超えるファイルがバックアップされないように設定されています。10MB 以上のファイルもバックアップしたい場合にはチェックを外してください。

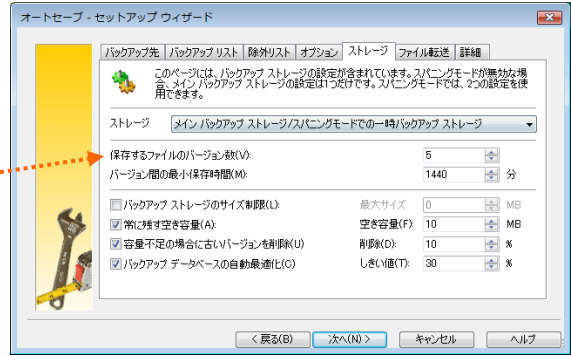


【オプション】



圧縮率を指定します。圧縮したくない場合にはチェックをはずします。


【ストレージ】



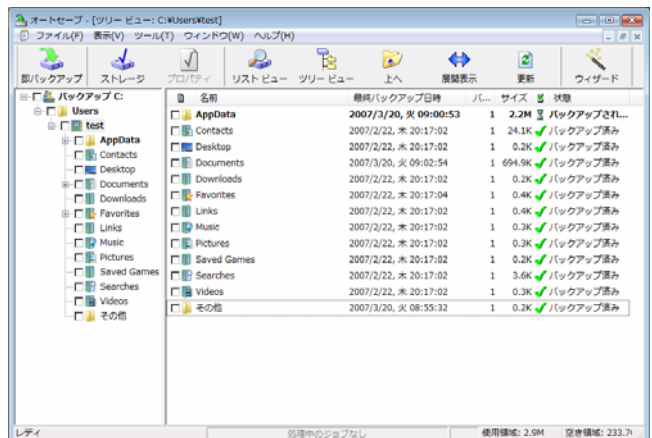
世代管理するバージョン数を指定します。指定した数だけ過去に遡って復元することができます。

「次へ」ボタンをクリックすると、前述の「①-2」と同じ画面が表示されますので、設定を続けてください。

バックアップデータの確認方法

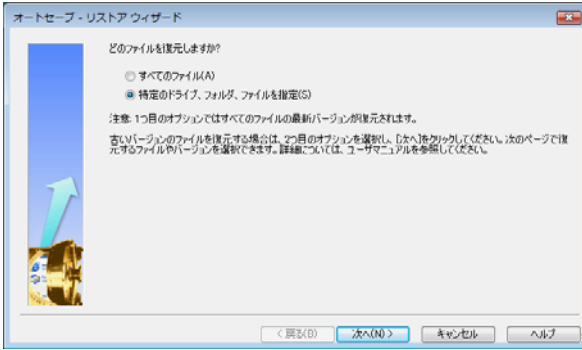
1. タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。メイン画面から「バックアップの参照と各種ツール」を選択します。
2. 「ツリービュー」ボタンを押すと、エクスプローラ形式の画面が表示され、バックアップされているファイルを確認することができます。

※バックアップ先のフォルダ内を直接参照しないでください。バックアップデータベースが壊れて復元できなくなる可能性があります。

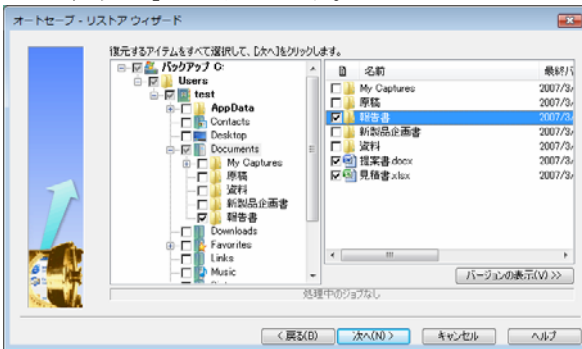


ファイルのリストア(復元)方法

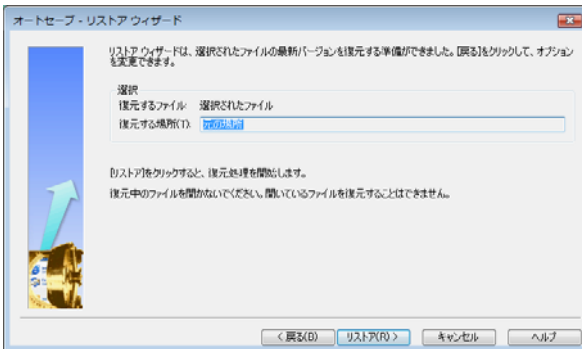
以下の手順でバックアップ先からファイルを復元することができます。



2. リストアしたいファイルのチェックボックスをオンにし、「次へ」をクリックします。



4. 確認画面が表示されますので、「リストア」をクリックすると、復元が実行されます。



以上の操作でバックアップ先から最新のファイルが復元されます。過去のファイル(バージョン)をリストア(復元)する場合の操作方法はユーザーマニュアルを参照してください。

1. オートセーブ 2 のメイン画面で「リストア」を選択すると、左の画面が表示されます。

すべてのファイル

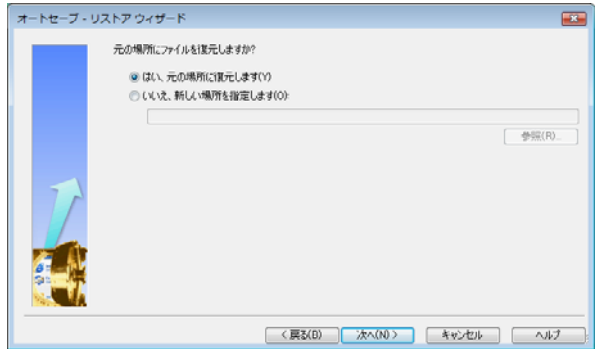
バックアップ先からすべてのファイルが復元されます。

特定のドライブ、フォルダ、ファイルを指定

復元するドライブ、フォルダ、ファイルを選択します。

※以下の例では特定のファイルを復元しています。

3. 復元先を指定します。元場所ではなく、別の場所を復元先として指定することも可能です。



5. 復元が完了すると以下の画面が表示されます。「完了」をクリックし、終了します。

